



特別号

令和3年 10月8日  
児童数 667名  
編集発行 新潟市立下山小学校

## 学校評価 ① ～3つのプロジェクトの取組～

今年度も3プロジェクト〔まなび・かかわり・くらし〕の取組を柱に、「みんなが楽しい学校」を目指しました。子どもたちは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な制限がある中で「かかわり」「助け合い」学校生活を送ってきました。職員もよりよい生活を送るためのあいさつ強調週間を実施したり、共通理解して「Good Job」と積極的に声掛けをしたりして、子どもの成長をサポートしてきました。

**93%が楽しい！（あてはまる60%， ややあてはまる33%）**

〔昨年 92%（あてはまる62%， ややあてはまる30%）

7月末の時点で、「学校生活が楽しい？」の設問に対して上記のような結果が得られました。目標としてきた90%を今年も超えました。2年前から90%を超えています。「かかわり」を大切にされた各プロジェクトの手だてが子どもたちにも浸透し、成果として表れてきたと言えます。

3プロジェクトの達成目標、及び7月に実施した伸びる子アンケートについての結果は以下のとおりです。

達成目標の評価は達成率で表し、児童アンケートにおいて十分に達成、おおむね十分達成した割合で示しています。なお、伸びる子アンケートの棒グラフの数字は、左からA（十分）B（おおむね十分）C（やや不十分）D（不十分）の割合を表わしています。また、昨年と比較できる項目については、昨年の達成率を入れました。



6年生 佐渡体験教室

### I まなびプロジェクト（対話を通して、考えを広げ深める子どもの育成）

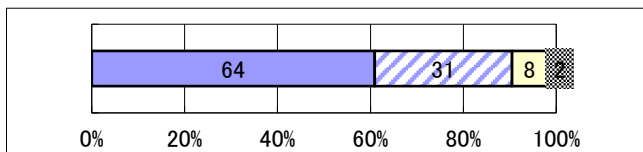
1 達成目標と結果 〔評価…A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満〕

◎ペアや小グループ、全体でかかると、勉強がよく分かると答える子どもが80%以上

〔達成率 95%でA〕

★各学年の達成率

1年…99%      2年…95%  
3年…95%      4年…95%  
5年…98%      6年…93%



全学年で目標を大きく上回りました。先生の話聞くだけでなく、学習課題を工夫して、ペアや小グループ、学級全体で考えを伝え合ったり、自分の考えを友達と比べながら対話したりする学習が大切です。今後も、子ども一人一人が学びを実感できるように取り組んでいきます。

A(思う)64%， B(だいたい思う)31% 計 95% 〔昨年 90%〕

## 2 伸びる子アンケートの結果（目標 A+B 80%）

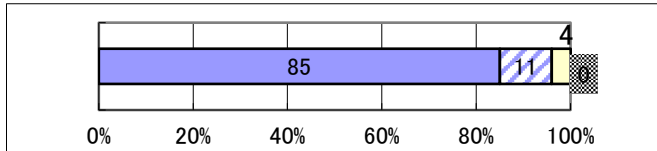
### 【児童】

(1) 授業で「課題」と「まとめ」を書いている。(2～6年)

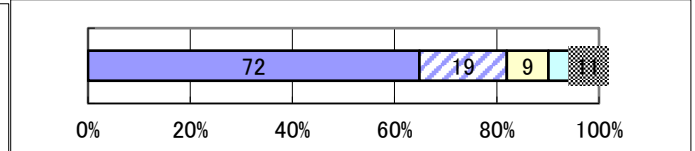
※勉強の「課題」が分かる。(1年)

(2) 授業の最後に、「振り返り」を書いている。(2～6年)

※「まとめを」書いている。(1年)



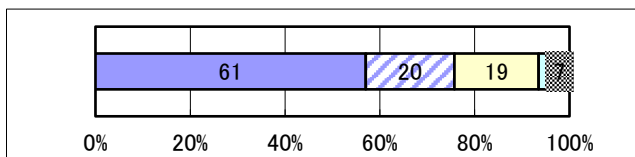
A85%, B11% 計 96% [昨年 96%]



A72%, B19% 計 91% [昨年 80%]

A(毎回) B(だいたい)

(3) 家に帰ってから、「10分×学年」の家庭学習に取り組んでいる。



A(ほぼ毎日)61%, B(週3日以上)20% 計 81%  
[昨年 75%]



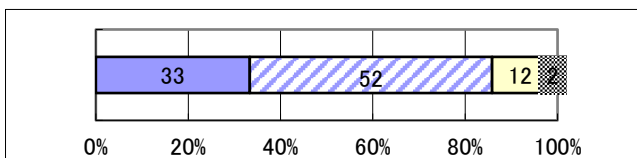
タブレットを使った学習

### 【保護者】（お子さんについての質問）

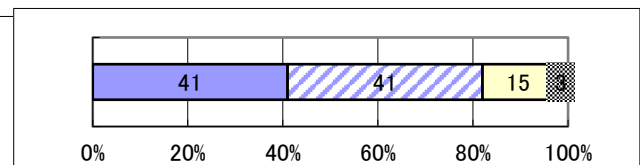
A(十分) B(おおむね十分)

(1) 授業を楽しみにしている。

(2) ノートに「課題」と「まとめ」・「振り返り」を書いている。

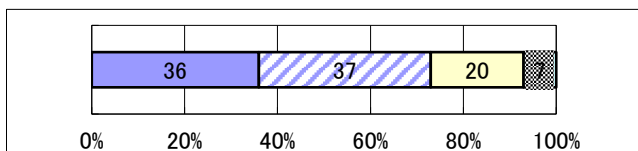


A33%, B52% 計 85% [昨年 86%]



A41%, B41% 計 82% [昨年 82%]

(3) 家に帰ってから、「10分×学年」の家庭学習に取り組んでいる。



A36%, B37% 計 73%達成 [昨年 76%]

(3) について昨年と比較すると子どもの結果では-5ポイント、保護者の結果は+4ポイントという結果になりました。とらえ方が異なるという結果になりました。

## 3 今後、取り組むこと（○学校 ◇家庭との連携、お願いしたいこと）

- iPadなどのICTを活用しながら、子どもの思考力・判断力・表現力を高めるために、協働学習で自分の考えを広げたり、全体での交流で自分の考えを深めたりする学習をより推進します。
- 解決意欲を高める「学習課題」を工夫し、「まとめ」「振り返り」で、その時間に学んだことを整理し、定着を図ります。「振り返り」の目的をしっかりと伝え、よいものを紹介するなど、子どもが「振り返り」の大切さを感じられるようにします。
- ◇家庭での学習習慣が身に付くよう、家庭学習カードを活用します。また、たよりや保護者との懇談を通して家庭と協力しながら共に学力向上に取り組めます。子どもがさらに意欲的に取り組めるよう、励みとなる声掛け、励ましをお願いします。

## Ⅱ かかわりプロジェクト（友達を思いやり，互いに助け合う子どもの育成）

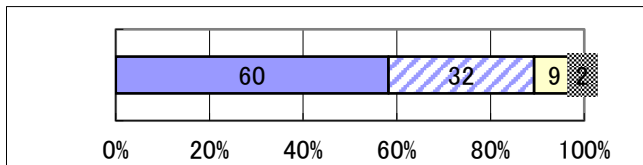
### 1 達成目標と結果

ア 学級やなかよし班での活動で，相手の気持ちを考え助け合っている子どもが85%以上

〔達成率 92%でA〕 〔評価…A：85%以上 B：75%以上 C：75%未満〕

#### ★各学年の達成率

1年…92%	2年…94%
3年…92%	4年…86%
5年…99%	6年…90%



ほとんどの学年で90%を上回ることができました。  
夏休み前までは，なかよし班での清掃活動やピアサポート活動を実施し，仲間のためにできる活動を考えました。また，クラスごとになかよしタイムの遊びを実施し，交流を深めることができました。

A(している)60%，B(だいたいしている)32% 計92% (昨年89%)

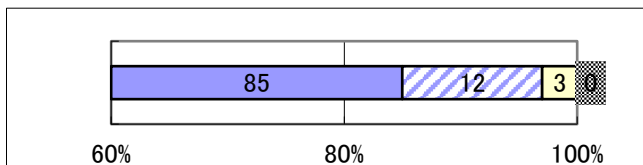
イ 友達とかかわって活動することに満足している子どもが80%以上

〔達成率 85%でA〕 〔評価…A：80%以上 B：65%以上 C：65%未満〕

#### ★各学年の達成率

※ A(している)のみの評価

1年…96%	2年…84%
3年…88%	4年…84%
5年…80%	6年…78%



目標をかなり上回ることができました。  
学級、学年の友達を中心に，なかよし班の他学年と交流する中で，工夫して遊んだり，かかわったりして楽しさを感じています。

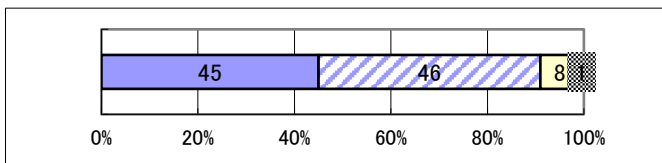
A(している)85%，B(だいたいしている)12% 計85% (昨年82%)

### 2 伸びる子アンケートの結果 (目標 A+B 80%)

A(十分) B(おおむね十分)

【保護者】(お子さんについての質問)

☆ 友達と仲良く過ごしている。



A45%，B46% 計91% [昨年91%]



なかよしタイム

### 3 今後，取り組むこと (○学校 ◇家庭との連携，お願いしたいこと)

- なかよし班の活動は，コロナウイルスの感染状況を見ながら，実施を検討していきます。活動実施の際は，マイ・ピア・サポートカードを継続し，自分の役割や友達のために取り組んだことが，「役に立った」と実感できるような活動を行います。
- 感染防止策を取りながら，なかよしタイム(遊び)，ウキウキフェスティバルなどの行事を柱にして充実させ，友達を思いやり，互いに助け合う児童の育成を目指します。よい言動には，「Good Job」と声を掛けたり，カードを渡したりして賞賛します。
- ◇放課後や休日に友達とのかかわりの中で，思いやりや欠ける行為や言動が見られた際は，そのときの気持ちを振り返ることができるよう話を聴き，子どもの気持ちに寄り添いながら一緒に考えてあげてください。

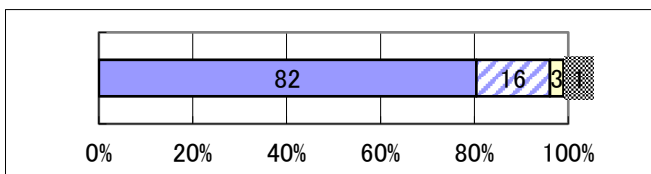
### Ⅲ 暮らしプロジェクト（責任を果たし、めあてに向かってやり遂げる子どもの育成）

#### 1 達成目標と結果

ア 自分の仕事（清掃・委員会・係・当番）で、自分の役割をやり遂げている子どもが80%以上  
 〔達成率 82%でA〕 〔評価…A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満〕

★各学年の達成率 ※ A（している）のみの評価

1年…76%	2年…84%
3年…91%	4年…82%
5年…77%	6年…78%



学年によってばらつきがありますが、トータルで目標を上回りました。

前期はクラスの友達と協力する機会が中心になりました。自分の役割を果たそうと努力しています。高学年の評価率が低いですが、委員会などで中心となり活躍しています。

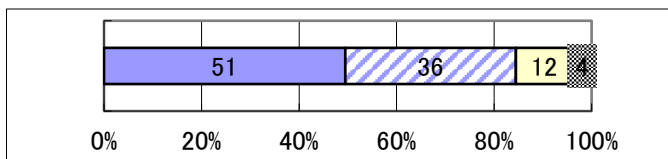
A82%, B16% 計 82% (昨年 75%)

イ あいさつ強調週間で、友達や先生、地域の方に自分から気持ちのよい挨拶をしている子どもが85%以上

〔達成率 87%でA〕 〔評価…A：85%以上 B：75%以上 C：75%未満〕

★各学年の達成率

1年…94%	2年…89%
3年…93%	4年…86%
5年…79%	6年…81%



目標を上回りました。

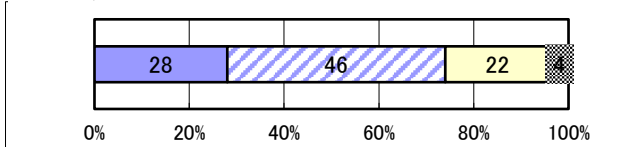
あいさつ強調週間を実施し、一人一人がめあてをもって相手に伝わるような挨拶に取り組みました。廊下で職員や来校者に会ったら、「こんにちは」と挨拶をする活動も力を入れていきます。

A51%, B36% 計 87% (昨年 84%)

#### 2 伸びる子アンケートの結果（目標 A+B 80%）

【保護者】（お子さんについての質問）

☆ 家族や近所の人に対して進んであいさつをしている。



A28%, B46% 計 74%達成 [昨年 72%]

A(十分) B(おおむね十分)



登下校ボランティア

#### 3 今後、取り組むこと（○学校 ◇家庭との連携、お願いしたいこと）

- 子どもたちのよい行動を「笑顔と Good Job！」で認めたり、褒めたりします。
- 朝や帰りの会、学級指導などで、挨拶の意義や良さをこどもに考えさせ、状況を判断して心の込もった適切な礼儀正しい行為ができるよう努めます。
- ◇「どこでも」「だれにでも」挨拶することを奨励します。家庭では、ご家族と親戚、近所の方を意識して挨拶に取り組んでいただけるようお願いします。
- ◇休み明け、週の半ば等、疲れのためか、元気がでなかつたり落ち着きがなかつたりする傾向があります。ご家庭での朝の様子を見取り、元気よく送り出してください。

